

平成20年度事務事業評価表	担当	市民福祉部 保険年金課	内線等	1131
---------------	----	-------------	-----	------

事務事業名	国民健康保険人間ドック助成事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	3.健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	社会保障	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市国民健康保険被保険者
手 段	人間ドック受診費用助成
成果、目標	被保険者の生活習慣病を早期発見し健康管理を図る

成果指標

成果指標名	受診率(定員に対する割合)	被保険者一人当たり給付額の増加率		
成果指標の説明	$(\text{受診者} / \text{募集人数}) \times 100$	$\{ \text{一人当たり給付額伸び額} ( \text{当年度一人当たり給付額} - \text{前年度一人当たり給付額} ) / \text{前年度一人当たり給付額} \} \times 100$		
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)	
成果指標	83.2%	67.2%	100.0%	
成果指標	6.5%	-0.4%	6.4%	

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
募集定員	250人	250人	220人
実施人数	208人	168人	220人
実施機関	蒲郡市総合保健センター	蒲郡市総合保健センター	蒲郡市総合保健センター
国保助成額	23,800円 (人間ドック費用額34,000円の7割分)	13,000円 (人間ドック費用額34,000円から特定健診助成額を引いた5割分)	13,000円 (平成20年度と同じ)

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.41人	次長 課長級	0.06人	補佐級	0.00人	係長級	0.10人	一般職	0.10人	非常勤	0.15人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費 を含む 事業費	事業費	2,184
	人件費	2,350
	合計	4,534
財源 内訳	特定財源	0
	一般財源	4,534

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	より多くの国民健康保険被保険者が受診し、結果的に病気早期発見と健康管理に努めてもらうことが医療費の削減につながれば、国民健康保険財政が安定し国民健康保険税の引き上げを抑制することができるため、保険者(市)が受診環境を整え、実施することが必要である。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	<p>1 募集定員数の増員と年齢制限の撤廃：募集定員数を、平成18年度130人であったが平成19年度から250人に増やし、35歳から65歳までを対象としていた年齢制限を撤廃し、だれでも受診できるようにした。</p> <p>2 受付方法の改善：平成19年度まで、ドック申請受付と同時に受診日も決定する方法であったため、受付が混乱し受診希望者からクレームが多かった。平成20年度から受診の申請受付と受診日決定を別々にする受付方法に変えたところ、受付がスムーズになり、受診希望者からのクレームもなくなった。</p> <p>3 特定健診の同時実施：平成20年度から特定健診が開始されたことに伴い、人間ドック受診で特定健診の受診も併せてできるようにし、人間ドックと特定健診の費用助成も合わせて行うようにした。</p>
現在の課題、問題点	募集定員を増員したが、健診受診率は向上していない。別に実施している特定健診の受診率も低めであることから、健康診査全般に関してこういう傾向が見られるのではないかと推測されるので、この分析が必要である。
今後の改善計画	健診を受けなかった被保険者に対するアンケート実施などを通じ課題を分析し、健康に関する意識の高まりを促す有効な方法を検討していく。